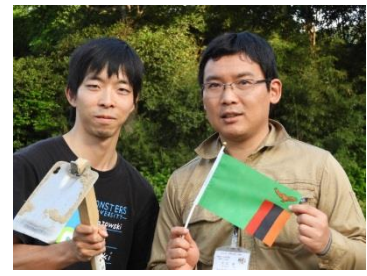


協力隊通信

地域おこし協力隊
耕野地区担当

川部 幸太
玉川 渉

第5号 2018.10.1



玉川 渉の9月の活動報告

9月8日よりザンビア丸森プロジェクトの農業研修のため、4名のザンビア人がころたけハウスに滞在しています。

ザンビアはアフリカ南部に位置する内陸の国で人口は約1700万人、国土の広さは日本の約2倍、公用語は英語ですが、73の部族が存在し、73の異なる現地語が話されています。

今回研修のために来日した4名(ルサカ州という州にあるカフエ郡とチランガ郡からそれぞれ2名ずつ、男性2名・女性2名)の方が農業の研修のために滞在しています。

研修では丸森町の様々な地区の農家さんから農業についての工夫や歴史を教えていただいたり、直売所がどのように地域と関わりあってきたかについてなど、直接お伺いし、学ばせていただいております。

また、学校や地域住民の方々との交流など、密度の高い研修を行っております。

今回私は、研修資料の翻訳、通訳、研修先との日程調整、研修の補助、研修生の生活面での補助などに関わらせていただいている、もう一名のプロジェクト担当者と共に研修生を羽田空港で出迎えたり、研修生の休日には、一緒にどこかに出かけたりして皆と共に行動しています。

先日は彼らにとって初めてとなる海を見に行きました。

研修生は皆、海を見て感激していました。味見もしてみたそうで、皆がしょっぱいと言っていました。時々、仕事が終わった後研修生としばらく一緒に過ごしながらいろいろな話をしています、日本での生活も楽しんでいただいている様なので私もうれしいです。

通訳や翻訳の仕事は大変ですが、やりがいを感じながら日々研修を行っております。

10月8日の研修生の帰国まで、あと残すところ1週間程となりましたが、充実した研修となるよう一所懸命努めますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

9月の活動風景 主に研修の通訳をしています。



川部幸太 9月の活動報告

援農ボランティア

干し柿の援農ボランティア事業が今年も実施されます！10月からの募集開始、そして11月の実施のため、今年度1回目の打ち合わせが9月21日に行われました。

昨年までのアンケートで出た声を反映させ、ころたけハウスを活用し、宿泊していただくことも検討しています。

受け入れ農家さんの負担を減らし、ボランティアの方々にまた耕野に来たいと思っていただけるよう、がんばっていきます！



— 昨年度の様子 —



— 今月の出来事 —

- ☆共愛行政区の外来魚駆除事業として嶽の堤の釣りイベントに参加。座礁しかかっている鯉を釣り上げました！
- ☆農家のたまご塾で戦略マネジメントゲームというものを体験。社長になって会社を回し、利益の最も大きい人が勝ちというもの。1日目のみの参加だったため2日目はほかの方に引き継いでいただき、見事1位に！
- ☆大和沢中の“無事かえる”をご存知ですか？私が耕野に来た4月にも交通安全運動が実施されていて、その時にも寺前に“無事かえる”が出現していました。今回はなんと“無事かえる”の出現に立ち会いました！（重かった...）
運転にはお気をつけください！

ザンビア研修生受け入れ

本邦研修のきのこ研修の一部が幸太農園で実施されました。園芸用ビニールを天井からたらし即席の部屋を作成。講師の指導のもと、研修生が植菌作業を体験しました。

柿ばせの利用方法について様々な可能性を感じる機会となりました。



また、きのこ研修が実施される前々日、5月と7月に耕野を訪れてくれていた中央大の学生が再び訪れてくれました。

今回は、研修準備を手伝ってくれたり研修生と交流してくれました。ありがとうございました。



農園の様子

先月下旬に草刈りと耕耘を行い土づくりを始め、9月の初めには土づくりが終わりましたが、雨が降り続きなかなか大根の種まきができませんでした。

秋雨の合間の13日に第1弾、まだ間に合うとアドバイスをいただき20日に第2弾の種まきを実施。虫害を防ぐため殺虫剤もきちんと散布しました。

ひとまず順調に生育し、虫害もほぼなさそう。今後も順調に育ってくれることを願います！



9/13



9/20



9/26